

令和6年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	1 日米共同の軍事訓練について	<p>(1) 町民の生活と生命を守る視点から訓練の詳細を伺う。</p> <p>① 広報きかい3ページ「空挺降下訓練のお知らせ」の責任はどこが持っているのか。</p> <p>② 訓練の内容</p> <p>ア 自由降下訓練 出発地、機材、訓練場、隊員数、帰路の交通手段、帰着地。</p> <p>イ 空挺降下訓練、 出発地、機材、着陸地、隊員数 帰路の交通手段、帰着地。</p> <p>ウ 地上訓練の廃校とはどこか、生存自活訓練エリアはどこか。</p> <p>エ 300人超の訓練参加が予測されるが宿泊、食糧交通、医療など町民生活への影響はどの程度か。</p> <p>オ 訓練期間中の地震、大津波等災害発生時の陸自の行動はどのように計画しているか。</p> <p>(2) 昨年からの軍事実践訓練が頻繁に行われている。町民から「怖い」「今回の訓練は前回の3倍の規模」「騒音被害も予測される」「製糖期は避けるべきだ」などの声も寄せられている。 本町として関係機関に対して、住民の安心、安全平穏な生活を確保するよう強く要請をすべきだと考えるが如何か。</p> <p>(3) 令和6年度の軍事訓練の予定を伺う。</p>	町長
	2 マイナ保険証について	<p>(1) マイナ保険証の令和5年4月以降の本町及び国の月別利用件数、利用率を伺う。</p> <p>(2) 先般の診療所でのトラブルについて</p> <p>① トラブルの内容とその対応は。</p> <p>② カードリーダー等精密機器のトラブルは今後もあり得る。台風時の停電などマイナ保険証の対策は万全か。</p>	町長
	3 物価高騰対策について	<p>(1) これまでの物価高騰対策の実施状況（実施月、対象者数、申込数）町民の反応。</p>	町長
	4 牛農家支援の執行状況とその成果について	<p>(1) 各施策の執行状況と効果を伺う。</p> <p>① 共済利用促進対象（対象戸数、利用状況）</p> <p>② 子牛の3カ月飼料支援（対象のべ頭数、利用状況）</p> <p>③ 母牛への1万円支援（対象頭数、利用状況）</p> <p>(2) 国内外の需要見通しと今後の対策を伺う。</p>	町長
	5 獣害対策について	<p>(1) 野生化したシカの駆除の直近頭数と年度末見込み頭数、及び今後の対策を伺う。</p>	町長
	6 消防分署の津波対策について	<p>(1) 現在の消防分署について</p> <p>① 海抜何メートルか。</p> <p>② 今後の予測では10メートルを超えるとも言われている。その際、消防分署はどのような対応をとるのか。</p> <p>(2) 町民の生命、財産を守るためにもいかなる時でも消防機能の維持は不可欠である。今後の消防分署の高台移転の計画を伺う。</p>	町長

令和6年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	7 町政の今後について	(1) 前回議会に引き続いての質問です。施政方針でも多くの政策課題、施策を掲げていますが、町長は10月以降も町政の先頭に立って推し進められる予定ですか。	町長
土岐和貴 議員	1 喜界町の未来を考えるについて	<p>本町の重要課題である少子高齢化に加え人口減少問題。施政方針の中でも述べているが、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では2050年に人口が3892人になると予想されている。その内65歳以上が50%、15歳から64歳が41%、0歳から14歳が9%となっている。このデータから推測しても危機的状態になることは間違いない。</p> <p>(1) 喜界町の将来に対する全町民の危機感の共有が必要ではないか。</p> <p>(2) 奄美群島全体でも（現在約104000人）25年後には69000人まで減少すると予想されている。しかし、龍郷町では5800人から5100人と大幅な減少がみられない。その理由や研究結果などは把握されているか。</p> <p>(3) 毎年、100人以上が減っている現実と若い世代の流出も大きな要因である。Uターン就職への促進を強化していくためにも雇用環境の充実や企業立地支援事業など、対策の見直しが必要ではないか。</p> <p>(4) 移住体験ツアー事業やお試し移住支援事業の取り組みも重要になってくるが、年間目標の数値化などデータを基に協議や対策は行っているか。</p> <p>(5) 基幹産業である農業の安定・維持を図りつつ収益性の高い作物を増やし複合的な農業を推進していくことで、新たな雇用にも繋がっていく。人口減少に伴い、人手不足が深刻化しているが、機械化以外での対応策はあるか。</p> <p>(6) 現在、東京農業大学に農産物に関する調査・研究を委託している。島外からの人材確保・他島の取り組み事例を基に東京農業大学と連携し農業研究生の受け入れ体制の整備や定住者への支援制度を新設することは可能ではないか。</p> <p>(7) 少子化は経済的自立、仕事と家庭の両立、子育てに対する若者の様々な不安心理が作用している。子育てしやすい環境づくりの中で、サポート体制も充実してきているが、島内で出産できない現状は変わっていない。妊産婦の精神的負担や島内で待っている家族の不安を解消していくことで出生数も変わってくるのではないか。</p> <p>(8) 「島で育ってよかった」と思ってもらうためには島への愛着や誇りを持てる環境づくりが必要である。多様化している現代だからこそ、島の歴史や文化、「食・農・暮らし」について学ぶ機会を増やしていくことが必要ではないか。</p> <p>(9) 人口減少問題について様々な対応策があるが、やはり「仕事・生活・子育て・地域のふれあい」の4つが全て揃わない限り「住んで良かったと思える元気の島」とはならない。町長が思い描く「喜界町の未来」を伺う。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>

令和6年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐和貴 議員	2 動物愛護について	<p>令和元年から「奄美いんまや動物病院」の出張診療を実施していただき、動物と暮らすご家庭にとっては非常に助かっていると伺っている。</p> <p>(1) 本町の公園では様々な利用方法で子どもからお年寄りまで楽しめる広場がある。現在ある公園等を活用して動物専用広場（ドックラン）を設置することはできないか。</p> <p>(2) 生涯を通して共にする動物だが、亡くなった時の対応で困っているご家庭も多くいる。現在の火葬場は老朽化して数年後には建て替えも検討していると思うが、その際に動物用の火葬スペースも新設していただけないか。</p>	町長
生島 常範 議員	1 防災対策について	<p>2月15日開催された「喜界町・鹿児島大学防災シンポジウム」は一人ひとりが防災意識を高める充実した内容だった。</p> <p>(1) 避難所となる集落公民館の雨戸設置と内トイレ化の進捗と今後の計画を伺う。</p> <p>(2) 身近に専門家の視点から防災・減災の施策に反映させるため、瀬戸内町は「防災専門監」を会計任用職員として配置している。その他「防災士」という資格もある。本町でも配置を検討できないか伺う。</p> <p>(3) 平家森後背地を一時避難所として利用できないか調査中とのことだが、結果を伺う。また、役場周辺に集中している避難所が被災する最悪の事態を想定し、北部に平時は文化センターとしても使用できる「防災センター」建設は検討できないか。</p>	町長
	2 島外治療旅費助成制度について	<p>天城町は令和2年度から町単独事業で一定の条件を設けて「島外治療旅費助成制度」を実施している。令和3年に本町の癌治療患者の方から宿泊費を含む渡航費助成依頼の陳情が議会に寄せられた。本町でも検討できないか伺う。</p>	町長
	3 ため池の防災対策について	<p>江戸時代以前に農業用水確保のため築造されたため池が喜界町内に19カ所所有。町ホームページでは「ため池決壊による災害の可能性」をハザードマップで紹介している。</p> <p>(1) 防災のため廃止予定のため池は何カ所か。廃止に当たっては、水利権も存在すると聞いている。地元集落民の合意を得るための十分な説明が必要だが、説明会実施状況及びその計画について伺う。</p>	町長
	4 堆肥センターについて	<p>(1) 下水汚泥・生ごみ等の課題解決と堆肥活用による農業振興が期待されるが、開発組合の土壌改良資材生産にかかる経費、町助成金、将来発生する経費やその維持費等総合的に費用を算出して検討する必要がある。砂糖キビ由来のバカス等も原料にし、一本化して堆肥を作るという令和2年当時の計画も再検討できないか伺う。</p>	町長
	5 日本で最も美しい村連合加盟の町として	<p>(1) 新年度施政方針にも「区長とも連携しながら、ポイ捨て防止に取り組む」とある。県内唯一の加盟自治体として行動を起こす時と思う。ボランティア袋を提供し、農道、林道をウォーキングしながら拾って戴く「きゅら島（美しい村）協力隊」制度など具体的な対策が必要と思うが如何か。</p>	町長

令和6年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議 員	6 文化財の振興について	(1) 昨年6月議会において、町指定無形文化財である事を周知する看板等を集落公民館に設置して継承の気運醸成を要望したところ、協議したいとの答弁だった。最近、継承活動団体が解散したと聞いた。会員は文化財である事を知らなかった。文化財の振興について見解を伺う。	教育長
	7 これからの町政について	(1) 集落公民館の雨戸設置と内トイレ化やサンゴ留学制度導入、そして町長自らSNSで毎日の様に喜界島を全国、世界へ発信しトップセールスを実践している。今年度はジオパーク登録申請も有るが、同時に課題も山積である。 町長の任期も残り半年。進退を含めた今後の町政についての想いを伺う。	町 長
米田 信也 議 員	1 早町地区の津波災害時の避難について	(1) 早町地区に津波災害の一時避難所を高台に建設する可能性について伺う。	町 長
		(2) 津波発生時に佐手久、志戸桶間の町民は高台への車での移動に時間が掛かるため佐手久、志戸桶の間に避難道路を建設出来ないか伺う。	
	2 空路復活について	(1) コロナウイルスが5類感染症になったのを受け、コロナ禍で運休された奄美行き2便の復活について伺う。	